

平成23年度ツキノワグマのエサ資源調査結果(豊凶予測)等について

1 餌資源調査結果について

クマの出没予測のため、「ツキノワグマのエサ資源調査」を実施し、結果を取りまとめました。(調査実施：石川県自然解説員研究会、結果取りまとめ：石川県白山自然保護センター)

8月から9月にかけて行われた着果状況調査から推定したブナ科植物(ブナ・ミズナラ・コナラ)の今秋の豊凶予測は以下のとおりです。

- ・ブナ 大豊作 (事前予測：並作)
- ・ミズナラ 豊作(場所によりばらつきあり) (事前予測：豊作(場所によりばらつきあり))
- ・コナラ 豊作(場所によりばらつきあり) (事前予測：並作)

<結果詳細>

ブナ科植物	調 査 結 果	総合予測	凡 例
ブナ	調査箇所21地点 大豊作19、豊作2、並作0、凶作0、大凶作0	◎+	大豊作 ◎+
ミズナラ	調査箇所24地点 大豊作7、豊作8、並作5、凶作4、大凶作0	◎	豊作 ◎ 並~豊 ○+
コナラ	調査箇所24地点 大豊作6、豊作8、並作7、凶作3、大凶作0	◎	並作 ○ 並~凶 ○- 凶作 ▲ 凶~大凶 ▲- 大凶作 ×

<参考 H16~H22のエサ資源調査結果>

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
ブナ	×	◎	▲	○-	▲-	◎	▲-
ミズナラ	×	○	○-	○-	○+	◎	○
コナラ	×	○	○+	○-	○-	○	○



ブナの種子



ミズナラの種子



コナラの種子

2 クマの出没状況

4月～9月15日までの県内のクマの出没情報（目撃）は36件で、昨年同期の84件と比べて半分以下となっています。

3 クマの出没予測について

エサ資源調査結果から、県内のブナ科植物の結実状況は概ね良好であり、今年は、平成16年度、18年度、22年度のような平野部への大量出没の可能性は低いと考えられます。

しかし、近年は里山でのクマの活動が見られていることから、キノコ採りなどで山へ入る場合やクマの出没が見られている地域では、人身被害発生防止のため、以下の事項に十分注意して下さい。

○ キノコ採りや山仕事等で山に入る際は、人の存在をクマに気付かせるため、鈴やラジオを携行するなど十分な安全対策を行ってください。

林道での人身被害を防止するため、自動車から降りる際にはクラクションを数回鳴らしてから降りる等して下さい。

○ 過去にクマが出没した地域やその周辺等では、以下の点にご注意ください。

・カキやクリなどの果実、ハチの巣や生ごみ等を求めてクマは集落に接近します。果実は早めに摘み取る、ハチの巣を除去する、生ゴミを放置しない等、クマの誘因物の除去を徹底して下さい。

・クマはやぶや草の茂みに隠れて移動するため、集落に隣接する草むらの刈り払いを行うようにして下さい。

○ 市町や県のホームページで公開されているクマ出没情報等を活用し、自宅周辺のクマの出没状況を確認して下さい。

ツキノワグマによる人身被害防止のために（県ホームページ）

<http://www.pref.ishikawa.jp/sizen/kuma/index.htm>

H23コナラ着果度調査

- 大豊作
- 豊作
- 並作
- 凶作

H23ミズナラ着果度調査

- ▲ 大豊作
- ▲ 豊作
- ▲ 並作
- ▲ 凶作

H23ナラ着果度調査

- 大豊作
- 豊作

